消化器外科を受診している患者さんへ

当科では,下記の研究を実施しています。この研究は,愛知医科大学医学部倫理委員会において,ヘルシンキ宣言の趣旨に添い,人を対象とする医学系研究に関する倫理指針,ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し,医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は,対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく,研究内容の情報を公開し,研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし,この研究に関するお問い合わせなどありましたら,以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

能や 3D 内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今日他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 2016 年 9 月より 2021 年 12 月までにロボット支援下鼠経ヘルニア修復術受けた患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022 年 11 月 30 日 研究に用いる試料・ 情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供	ΠD						
研究機関の長 病院長 道勇 学 消化器外科 研究責任者 (職名)講師(氏名)齊藤卓也 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 研究の意義・目的 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術では、腹腔鏡下手術と比較して、多関節能や30 内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術(中数も少なくエビデンスがほとんどありません。今日他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 2016年9月より2021年12月までにロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。研究期間 倫理審査承認日 2022年11月30日研究に用いる試料・情報・診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など)外部への試料・情報 た関係に対して検討を行います。 は料: なし情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など)外部への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 までに下記問い合わせ先まで申し出てください。	研究課題名	ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の安全性と妥当性に関する観察研究					
担当科等	研究機関名	愛知医科大学病院					
研究責任者 (職名)講師(氏名)齊藤卓也	研究機関の長	病院長 道勇 学					
 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 研究の意義・目的 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術では、腹腔鏡下手術と比較して、多関節能や3D内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今日他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。研究期間 研究に用いる試料・情報の情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など)外部への試料・情報の提供 試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 	担当科等	消化器外科					
る学外の研究機関名・研究責任者名 研究の意義・目的 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術では、腹腔鏡下手術と比較して、多関節能や3D内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今日他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022年11月30日 研究に用いる試料・情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供 試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022年6月1 までに下記問い合わせ先まで申し出てください。	研究責任者	(職名)講師(氏名)齊藤卓也					
名・研究責任者名 研究の意義・目的 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術では、腹腔鏡下手術と比較して、多関節能や30 内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今日他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022年11月30日 研究に用いる試料・情報・2002年11月30日 研究に用いる試料・情報・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供 試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1は提供を希望しない方は、2022年6月1 は提供を希望しない 場合	試料・情報を利用す	上尾中央総合病院 院長補佐 若林 剛					
研究の意義・目的 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術では、腹腔鏡下手術と比較して、多関節能や 3D 内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今時他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 2016 年 9 月より 2021 年 12 月までにロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の受力が表する ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究即間 倫理審査承認日 ~ 2022 年 11 月 30 日研究に用いる試料・情報・生別・手術時間・出血量・合併症など)外部への試料・情報 上尾中央総合病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供の提供 試料・情報の利用又 は提供を希望しない方は,2022 年 6 月 1 は提供を希望しない までに下記問い合わせ先まで申し出てください。	る学外の研究機関						
能や 3D 内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今時他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022年11月30日 研究に用いる試料・情報 情報 情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供 試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1は提供を希望しない よでに下記問い合わせ先まで申し出てください。	名・研究責任者名						
ます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今時他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 初究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022年11月30日 研究に用いる試料・情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供 試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1までにロボット支援所限として表討を行います。 は提供を希望しない 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1までに下記問い合わせ先まで申し出てください。	研究の意義・目的	ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術では、腹腔鏡下手術と比較して、多関節機					
療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今日他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022年11月30日 研究に用いる試料・情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供 試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合		能や 3D 内視鏡の使用で、人間工学に沿った手術が可能であると考えられてい					
他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により 手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 2016 年 9 月より 2021 年 12 月までにロボット支援下鼠経ヘルニア修復術 受けた患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022 年 11 月 30 日 研究に用いる試料・情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供 試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022 年 6 月 1 までに下記問い合わせ先まで申し出てください。		ます。しかし、ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術は、本邦ではいまだ自費診					
手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。 対象となる患者さん 2016年9月より2021年12月までにロボット支援下鼠経ヘルニア修復術受けた患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022年11月30日 研究に用いる試料・ 情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 人に関する病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供の提供 試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年6月1は提供を希望しない よでに下記問い合わせ先まで申し出てください。		療で行われており、手術件数も少なくエビデンスがほとんどありません。今回、					
対象となる患者さん 2016 年 9 月より 2021 年 12 月までにロボット支援下鼠経ヘルニア修復術 受けた患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022 年 11 月 30 日 研究に用いる試料・ 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 上尾中央総合病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供 の提供 試料・情報の利用又 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022 年 6 月 1 は提供を希望しない までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 場合		他施設共同によるロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の後ろ向き研究により、					
受けた患者さん 研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022 年 11 月 30 日 研究に用いる試料・ 試料:なし 情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 の提供		手術の安全性、妥当性を検討することを目的とします。					
研究の方法 ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。 研究期間 倫理審査承認日 ~ 2022 年 11 月 30 日 研究に用いる試料・ 試料:なし 情報 : 診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 上尾中央総合病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供 の提供 試料・情報の利用又 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022 年 6 月 1 までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 場合	対象となる患者さん	2016 年 9 月より 2021 年 12 月までにロボット支援下鼠経ヘルニア修復術を					
研究期間倫理審査承認日 ~ 2022年11月30日研究に用いる試料・ 情報試料:なし 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など)外部への試料・情報 の提供上尾中央総合病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022年6月1までに下記問い合わせ先まで申し出てください。		受けた患者さん					
研究に用いる試料・ 情報	研究の方法	ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術の治療効果に関して検討を行います。					
情報 情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など) 外部への試料・情報 上尾中央総合病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供 の提供 試料・情報の利用又 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022年6月1 は提供を希望しない までに下記問い合わせ先まで申し出てください。	研究期間	倫理審査承認日 ~ 2022 年 11 月 30 日					
外部への試料・情報 上尾中央総合病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供 の提供 試料・情報の利用又 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022年6月1 までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 場合	研究に用いる試料・						
の提供 試料・情報の利用又 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022年6月1 は提供を希望しない までに下記問い合わせ先まで申し出てください。	情報	情報:診療情報(年齢・性別・手術時間・出血量・合併症など)					
試料・情報の利用又 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は,2022年6月1は提供を希望しない までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 場合	外部への試料・情報	上尾中央総合病院へ診療情報(エクセルファイル)を提供					
は提供を希望しない までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 場合	の提供						
場合	試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は , 2022 年 6 月 1 日					
	は提供を希望しない	までに下記問い合わせ先まで申し出てください。					
問い合わせ先愛知医科大学病院	場合						
	問い合わせ先	愛知医科大学病院					
消化器外科		消化器外科					
担当者:(職名)医員助教(氏名)花澤隆明		担当者:(職名)医員助教(氏名)花澤隆明					
〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1		〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1					
電話 0561-62-3311 (内線 22121)		電話 0561-62-3311 (内線 22121)					